

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月13日(火)

事務事業		職員労働安全衛生管理事務		担当課	消防総務課	担当係	人事係	管理番号	50221	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができて安全・安心なまちづくり		根拠法令 個別計画等	・労働安全衛生法				
	小項目	2	消防・救急体制の充実							
	主要プロジェクト									
事業概要		消防職員に対して、特殊性のある消防被服等を貸与したり、B型肝炎等の感染症に係るワクチンを接種したりすることで、公務災害防止を図る。								
目的 ※何のために		消防の特殊被服等を購入、貸与し、災害対応時の職員の安全確保を図る。また、B型肝炎等のワクチン接種を実施し、職員の活動中の感染防止を図る。								
対象 ※誰・何を対象に		消防職員								
手段 ※どのように		特殊被服等の購入・貸与、抗体検査・予防接種の実施								
成果 ※何を求めるか		職員の安全確保と感染症への感染防止								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	9	消防費	1	消防費	1	常備消防費	職員労働安全衛生事務費	11,232,010
本事業の 主な業務		・消防職員用特殊被服等の購入							・	
		・感染症予防接種の実施							・	
		・衛生管理者・衛生推進者の育成							・	
		・消防職員委員会の開催							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	23,638,000	11,588,000	13,958,000	15,007,000		
	決算額	20,033,325	11,232,010	0	0		
	財源内訳	国支出金	7,906,000	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	3,175,000	2,315,000	2,952,000	3,778,000	
		一般財源	8,952,325	8,917,010	11,006,000	11,229,000	
人件費	従事職員数(人)	1.20	1.25	0.95	0.95		
	人件費相当試算※	9,314,298	9,836,946	8,245,975	8,245,975		
総事業費試算		29,347,623	21,068,956	22,203,975	23,252,975		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	更新用被服等の購入（制服・活動服・防火服等）	目標値	千円							
		実績値		6,232.38						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			職員の被服貸与については、平成24年度から申告制としたため目標値は設定しない。 / 更新用被服等の購入決算額						
	実績値の算出式									
活動指標 2	B型肝炎抗体検査実施率（現場活動従事職員）	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		100.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			抗体有無を把握し感染事故を未然に防止するため、全現場活動従事職員を対象とする。 / 検査受検者数／対象者数						
	実績値の算出式									
活動指標 3	破傷風ワクチン接種実施率（採用1・2年目職員）	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		100.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			小児期に接種したワクチン効果の消失を考慮し、採用2年目までの全職員を対象とする。 / 接種人数／対象者数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	活動中の感染事故の発生件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		0.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			感染事故によって職員を欠くことなく、現場体制を維持するため。						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	更新用被服については、職員からの申告に基づいて貸与し、現場活動に従事する消防職員の労働安全衛生に寄与することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	災害活動中における感染事故もしくは感染するおそれのある針刺し事故等の発生はなかった。
			評価者 人事係長 川俣 耕輔

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	職員からの被服貸与申告については、VBAを活用することで、集計に係る事務負担を大幅に軽減することができた。
			評価者 人事係長 川俣 耕輔

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	職員委員会の意見提出から実現までの過程における職員や委員の関与度を高めるため、委員会の運営方法について、検討する必要がある。
達成状況及び その効果	職員委員会制度における意見取りまとめ者の役割を見直し、審議に必要な資料提出を求める等、意見提出から実現までの過程における職員の関与度を高めることができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	職員労働安全衛生管理事務	担当課	消防総務課	担当係	人事係	管理番号	50221
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>更新用被服は、職員からの申告に基づき貸与できている。今後も世界規模での物価高騰が続く中、消防職員が災害現場活動に安全に従事できるよう、必要な装備品の調達を行っていく必要がある。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者	次長兼消防総務課長 齊藤 新一				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	地方公務員の定年延長に伴い、増加していく高齢職員が、災害現場活動において、今後も活躍できるよう、職員の体力維持に必要な施策を講じる必要がある。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	職員の公務災害を防止するため、災害活動等による職員の身体的負担を軽減するための装備品の導入等について検討する必要がある。

8. 評価指標グラフ

